



いちようっ子

学校教育目標

強く 一心身ともに強く、鍛える子
正しく 深く考え、進んで学ぶ子
美しく 思いやりがあり、感動する子

誰もが笑顔で過ごすために～児童虐待のニュースから～

校長 吉野 徳子

最近、児童虐待に関する痛ましいニュースを目にし、どうしてこのようなことが起こる時代になってしまったのかと、本当に悲しくなります。「学校だより」を通して、保護者・地域の皆様方と考えたいと思います。

「ごめんなさい。おねがい ゆるして もっとべんきょうするから・・・」と、ノートに書き綴って暴行され亡くなった5歳の女の子

母親も父親に加担に、真冬に冷たい水を浴びせられ亡くなった10歳の女の子

「スロットやパチンコをやっていたかった。」という理由で、火傷している3歳の女の子を放置し、朝8時から夜9時まで、兄妹だけを家に残している母親



一番の安らぎの場所である「家庭」が、一番危険となってしまうなんて・・・。

学校現場や企業では、労働災害おける経験則の一つであるハインリッヒの法則ということがよく言われています。これは、1つの重大事故の背後には29の軽微な事故があり、その背景には300の異常が存在するというものです。

一つの想像にすぎませんが、児童虐待も日常生活の中で、大きな事故になる前に300の異常が存在しているのではないかと考えます。「300もの異常」に堪える子どもたちは、あまりにも残酷です。

- ・口答えをしたから、夕飯をぬきにする？
- ・夜遅くまで、夜遊びにつきあわせる？
- ・夜遅くまで子どもだけで家にいる？
- ・子どもを無視して会話をしていない？

「児童虐待」における300の異常とは、どのようなものだと考えますか？

「子ども叱るな 来た道じゃ 年寄り笑うな 行く道じゃ」と、私は教わってきました。

とはいえ、毎日の生活の中で、そんなに完璧な子育てや生活ができるわけではありません。

言うことを聞かない子どもや時間に追われるお仕事と育児など、苛立つこともあるでしょう。しかし、「**戒め**」を自分にもちつつ、生活することが、もしかしたら、未来を担う子どもたちの笑顔につながるのではないかと考えます。

「児童虐待」には、「身体的虐待」「ネグレクト」「性的虐待」「心理的虐待」と種類があります。＜厚生労働省より＞このなかで、「心理的虐待」の中に、「言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの前で家族への暴力行為など」とあります。街中やスーパーなどでも、この中の「無視」や「うざいんだよ。あっちいって。」などと我が子に言い放つ親を目にすることがあります。

子どもが好きで教師になった私は、このような姿をみるととても辛くなり、自分に何ができるのだろうか？と、声をかけたくります。「社会で見守る」とは難しいことですね。しかし、学校では「子どもを守る」ことを最優先していきたいと考えております。

学校では、児童虐待のおそれがある場合には通告の義務が課せられています。

- 1 学校及び教職員は、児童虐待の早期発見のために努力すること。
- 2 児童虐待を発見した場合、速やかに福祉事務所等への通告をすること。＜文部科学省＞

各報道を通して、社会で子どもを守ることができないか、という話合いがよくされています。「子は国の宝」。自分に今できることをしっかりとやっていけたらと思います。悲しい事件を減らしていくために・・・。

